

令和3年11月15日

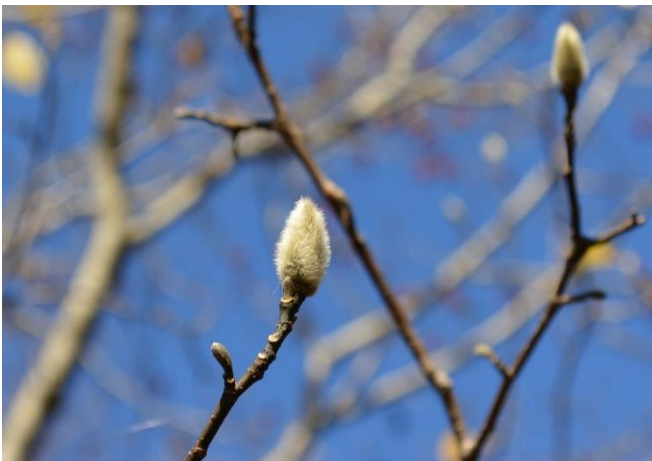
各位

山形市野草園

山形市大字神尾 832-3

電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



冬の寒さに備え、春を待つ冬芽たち 「ホオノキ (左上)」と「トチノキ (右上)」と「キタコブシ (左下)」と「オオヤマザクラ (右下)」

11月後半の野草園では、紅葉が終わり、植物たちがまもなくやって来る冬の寒さの備えをしています。同時にその後の春の萌え出しの準備も着々と進めています。この時季、写真のホオノキ、トチノキ、キタコブシ、オオヤマザクラを始め、多くの樹木の冬芽を確認することができます。冬芽は、寒さを防ぐために鱗片などでおおわれ、春になると伸びて葉や花になります。

今年度もミズバショウやクリンソウなどたくさんのきれいな花たちが来園者を楽しませてくれました。今後、野草園は冬期休園期間中もいくつかのイベントを予定していますが、11月いっぱい休園します。来春4月の開園時には、ザゼンソウやミズバショウ、オオミスミソウやフクジュソウなどの花が来園者を出迎えてくれることでしょう。

コロナ禍の中、多くの方々にお出でいただいたことに感謝します。

来年度も皆さんの憩いの場となるように、運営面でも工夫していきますので、どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございました。



園内をよく探すと振り返りの花に出会うこともできます。

上の写真は秋になって葉が茶色になった所に花が咲いたエゾムラサキツツジです。

冬期休園：12/1(水)～令和4年3/31(木)

11月後半の予定

◆【第28回 野草園の魅力を探る写真コンテスト入賞作品展】

○日時 10/17(日)～11/23(火・祝日) 9:00～16:30

○場所 自然学習センター ○費用 入園料300円のみ(高校生以下無料)

◆【ガイドウォーキング】

○日時 11/21(日)、23(火・祝)、28(日)

1回目10:30～11:30 2回目13:30～14:30

○場所 野草園内全域

○内容 野草園職員と一緒に園内を散策し園内の植物等について案内
申し込み不要。参加費無料(入園料のみ)

春の開園日までの予定

◆【スノーハイク体験ツアー】

○日時 2/12(土) 10:00～14:00

○講師 テレマーク&マウンテンガイドIDEHA

◆【四季観察会④】

○日時 2/16(水) 9:30～12:00 —樹木と冬芽— 講師：志鎌節郎氏・佐竹恵一氏

◆【四季観察会⑤】

○日時 3/16(水) 9:30～12:00 —早春の植物— 講師：志鎌節郎氏・佐竹恵一氏

◆【キッズスノーパーク(そり滑り)】

○日時 2/21(月)、22(火)、24(木)、25(金) 10:00～12:00

保育園、幼稚園の団体のみ

◆【野草園写真展】 山形市役所1階エントランスホール

○日時 3/22(火)～25(金) 8:30～17:15

◆【プレオープン】

正式な開園に先駆け 3/26(土)、27(日) 9:00～16:30

早春に咲き始める植物の様子を見にいらしてください。

※プレオープン中のガイドウォーキング

正式開園後のガイドウォーキングは、毎週日曜日に設定していますが、プレオープン期間の2日間も行います。

○時間 1回目10:30～11:30 2回目13:30～14:30

雪解けの湿地や林下に咲く早春の花たちを見てみませんか。

◆4月1日(金) 野草園の開園日…入園記念に、花の苗をプレゼントします(先着100名)。

《カフェの営業》(10月で今年の営業は終了いたしました)

◆カフェ「やまぼうし」 11月の営業はありません

●●● 11月後半に見られる花と樹木の果実と冬芽 ●●●



マルバノキ(マンサク科)

山地の谷間などに生える落葉低木です。葉は互生し、卵円形または円形で基部は心形です。秋には美しく紅葉します。葉のわきのごく短い柄の先に、暗紅紫色の花を2個背中合わせに開きます。花弁は5枚あり、星形に平開します。マルバノキはその葉が丸いことに由来し、別名ベニマンサクはその花が赤色であることに基づいた名前です。



サンシュユの果実(ミズキ科)

中国原産の落葉高木で、江戸時代に薬用植物として渡来しました。春、葉が開く前に淡黄色の小さな花をたくさんつけるので「春黄金花（はるこがねばな）」と言われますが、秋は赤く熟す果実から「秋珊瑚（あきさんご）」の別名があります。果肉を乾燥したものを強壯、強精などの薬用に、果実は果実酒にします。



ムラサキシキブの果実(クマツツラ科)

低い山地や野原に生える落葉の低木です。葉は対生し、楕円形で縁に鋸歯があります。葉の付け根から集散花序をだし、多数の淡紫色の小さな花をつけます。萼は短い鐘形で浅く5裂し、花冠は先が4裂します。今、球形で紫色に熟した果実を付けて、見る人の目を楽しませてくれます。落葉した後もたくさん残っています。



ナナカマドの果実(バラ科)

山地の林縁などに生える落葉小高木で、夏に白い花を咲かせます。山形市のシンボルの木としても知られています。今は赤い果実がたくさんぶら下がっています。この果実は冬に葉が落ちても残ります。美味しくありませんが、冬になると餌が少なくなり鳥たちが食べるようです。



ツルウメモドキの果実(ニシキギ科)

日本を含め、東アジア一帯に自生するつる性の落葉低木です。伸びた枝の先に黄緑色の花を集めて付けていました。今は、淡黄色に熟した果実がはじけ、3つに裂開し、その中から赤い仮種皮の種子が見えています。その姿がきれいなので、生け花の材料によく使われます。



ザゼンソウの冬芽 (サトイモ科)

今は、地面から暗褐色の冬芽を出しています。春になると冬芽から仏炎苞が成長してきます。花は紫褐色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた丸い花序です。



ミズバショウの冬芽 (サトイモ科)

今は、水面に緑色の冬芽を出しています。これが春になると葉に成長し、その後仏炎苞を出します。花は、白色の仏炎苞の中に多数の小花をつけた細長く黄緑色の花序です。



キタコブシの冬芽 (モクレン科)

今は枝先に寒さをしのぐため白い毛で覆われた冬芽をつけています。側に葉の冬芽もあります。4月になり暖かくなるとその冬芽から白い6枚の花弁の花が咲きます。



トチノキの冬芽 (ムクロジ科)

今は枝先に茶色の冬芽をつけています。表面は樹脂を出し粘性があるので触るとペタペタします。5月に花が咲き、20~30個集まり花序をつくります。



ホオノキの冬芽 (モクレン科)

今は灰色のキャップ状の芽鱗に包まれています。5月になるとそれが径20cm以上の白い花になります。萼と花弁の区別は明瞭でなく、雄しべの花糸は赤く、雌しべは円錐形に集まっています。





オオヤマザクラの冬芽 (バラ科)

野草園のシンボルのサクラです。今は枝先に、寒さを防ぐために茶色の芽鱗で覆われた冬芽をつけています。茶色の芽鱗にはソメイヨシノのように短毛がなくスベスベしています。



ソメイヨシノの冬芽 (バラ科)

エドヒガンとオオシマザクラを交配してつくられたサクラで、公園や街路に最も多く見られます。冬芽は芽鱗が8枚程度で毛が密生しています。冬芽の花芽の方が葉芽よりぷっくりしています。



マルバマンサクの冬芽(マンサク科)

丸い部分が花芽、尖っているところが葉芽です。春に先駆けて「まず咲く」のでマンサクといわれていますが、2月頃には花芽が黄色くなり始め、春の訪れを知らせてくれます。



リョウブの冬芽(リョウブ科)

左下の丸いものが数個映っているのが今年の実です。矢じりのようなところが冬芽(葉芽)です。皮をかぶった状態でやがてその皮(芽鱗)は落ちてしまいます。



レンゲツツジの冬芽(ツツジ科)

大きい部分が花芽で花芽の下にある小さい芽が葉芽です。花芽は十二単(じゅうにひとえ)の様に多くの皮をまとっています。花芽は12mm程で大きくて太っています。

